



2022年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社テクノフレックス
代 表 者 名 代表取締役社長 前島 岳
(コード番号：3449 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役兼専務執行役員管理本部長 川上展生
TEL. 03-5822-3211

(開示事項の経過) 千葉工場拡張工事の計画決定に関するお知らせ

当社は、2021年11月12日付「千葉工場の拡張に関する検討開始のお知らせ」の公表以降、千葉工場の拡張工事（以下、「本件」といいます。）につき、検討を進めて参りました。本日開催の取締役会にて、建設工事につきまして、大成建設株式会社との契約が決議され、下記のとおり本件計画が決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画の概要

当社の主要なマーケットである都心部に近く、また、流通面で利便性の高い港にも近いという、千葉工場の優れた立地を有効活用するため、老朽化の進む一部の平屋建ての工場棟および隣接する建物約6,000㎡（約1,800坪）を解体した敷地に、地上6階建て延床面積約17,000㎡（約5,000坪）の新工場棟を建設し、敷地を立体的に有効活用することで工場を拡張する計画です。

2. 建設工事の内容

- (1) 所在地 : 千葉県船橋市潮見町34-3、他
- (2) 総敷地面積 : 約13,000㎡（約4,000坪） ※敷地内の一部の建物を建替える計画
- (3) 建物計画 : 鉄骨造、地上6階建て、延床面積約17,000㎡（約5,000坪）の新工場を建設
※既存建物を含めると総延床面積は約27,000㎡（約8,000坪）となる計画
- (4) 工事費用 : 約45億円（税抜） ※設計、解体費用を含む
- (5) 資金計画 : 金融機関からの借入金等
- (6) 工期 : 2022年9月着工～2024年4月竣工
- (7) 設計 : 株式会社JFE設計
- (8) 施工 : 大成建設株式会社（近日契約予定）

3. 工場拡張に期待される効果

- 国内回帰による効果
 - 海外グループ会社の日本国内向け製品の製造について、千葉工場へのシフトを進め、海外からの輸送コスト削減、在庫期間の短縮（国内在庫回転率の向上）を図ります。
 - これによる航空輸送・海上輸送の減少は、二酸化炭素排出量の削減に繋がります。
 - また、海外情勢によるリスクの低減にも繋がります。
 - なお、海外グループ会社は、海外向け製品の製造・販売を強化します。
- 地産地消による効果
 - 国内の各工場から、当社最大のマーケットである首都圏に近い千葉工場に、首都圏向け製品の製造を集約します。首都圏への配送距離と時間の短縮により、輸送コスト削減と顧客満足度向上の両立を図ります。
 - また、輸送距離の短縮は、二酸化炭素排出量の削減にも繋がります。
 - 更に、自社配送化を進め、簡易包装での出荷による省資源化を進めます。
- 製造効率の向上による効果
 - 製造ロボットの導入等、設備の自動化による効率化を進め、収益性を向上します。
 - 効率化による二酸化炭素排出量の削減を図ります。
- 製品開発・製品試験の効果
 - 非溶接構造の金属製品開発を進め、二酸化炭素排出量の削減を目指します。
 - 試験センターを設置し、耐火試験、データ収集、他社との共同研究開発等に活用します。
- 建物の省エネルギー効果
 - 新工場の屋上は、将来の太陽光発電パネルの設置に備えた設計となっています。
 - 空調効率を高めるため、外気の影響が少ない設計としています。
- グループシナジー
 - 現在、千葉工場では、当社の継手製品の製造とグループ会社㈱TF エンジニアリングの配管プレハブ加工が、操業しています。新工場では、当社の防災用貯水タンク「マルチアクア」の製造と、グループ会社㈱スペースケアの介護用マットレスの洗浄事業も加わり、人材と技術の交流が更に活性化する見込みです。

4. 今後の見通し

本件による今期業績への影響につきましては、2022年5月6日付の「2022年12月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想および本日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2022年12月期第2四半期累計期間（2022年1月1日～6月30日）の連結業績予想の修正に、既に反映しております。

今後、公表いたしました業績予想と大きく異なる場合には、適時に適切な情報を開示して参ります。

(ご参考)

- 新工場のイメージ



- 千葉工場のレイアウト計画（中央が新工場）



以上